

News Release

平成 24 年度上半期業績のお知らせ

J A 共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 横井義則）の平成 24 年度上半期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の業績をお知らせいたします。

1. 主要業績

(1) 新契約高 ※詳細は別添資料の 1 ページをご覧ください。

① 生命総合共済^(注) ～ 積立型終身共済が伸長 ～

生命総合共済の新契約高は、積立型終身共済の伸長等により、件数で 126 万 1 千件（前年比 109.0%）、保障共済金額では 6 兆 7,023 億円（同 115.3%）と前年度同期実績を上回りました。

なお、契約者からの共済掛金受入額は、積立型終身共済の好調な推移による一時払掛金の増加等により、前年度同期に比べ 1,191 億円増加の 1 兆 3,853 億円（同 109.4%）となりました。

	実 績	前年比
契約件数	1,261 千件	109.0%
保障共済金額	67,023 億円	115.3%
共済掛金受入額	13,853 億円	109.4%

(注)「生命総合共済」には、終身共済、養老生命共済、こども共済、定期生命共済、医療共済、がん共済、引受緩和型定期医療共済を含みます。

② 年金共済 ～ 契約件数・年金年額ともに前年度同期実績を上回る ～

年金共済の新契約高は、件数で 10 万 8 千件（前年比 105.6%）、年金年額では 660 億円（同 103.8%）とどちらも前年度同期実績を上回りました。

	実 績	前年比
契約件数	108 千件	105.6%
年金年額	660 億円	103.8%

③ 建物更生共済 ～ 建物保障ニーズの高まりは落ち着きを示す ～

建物更生共済の新契約高は、東日本大震災による建物保障ニーズの高まりが落ち着いたことにより、件数で 45 万 2 千件（前年比 83.4%）、保障共済金額では 6 兆 8,185 億円（同 78.3%）となり、契約者からの共済掛金受入額は、前年度同期に比べ 30 億円減少の 1,380 億円（同 97.9%）となりました。

なお、東日本大震災発生前の平成 22 年度上半期時点と比べると、件数・保障共済金額・共済掛金受入額ともに同時点を上回る実績となっています。

	実 績	前年比	前々年比
契約件数	452 千件	83.4%	104.1%
保障共済金額	68,185 億円	78.3%	104.9%
共済掛金受入額	1,380 億円	97.9%	105.3%

④ 自動車共済・自賠責共済 ～ 自動車・自賠責共済とも共済掛金受入額が前年超 ～

自動車共済の新契約高は、契約件数では 417 万 7 千件（前年比 99.8%）と前年を下回ったものの、契約者からの共済掛金受入額では 1,708 億円（同 108.2%）と増加しました。

自賠責共済では、契約台数で 172 万 5 千台（同 100.6%）、共済掛金受入額では 358 億円（同 101.6%）とほぼ前年度同期の実績となっています。

		実 績	前年比
自動車共済	契約件数	4,177 千件	99.8%
	共済掛金受入額	1,708 億円	108.2%
自賠責共済	契約台数	1,725 千台	100.6%
	共済掛金受入額	358 億円	101.6%

(2) 保有契約高 ※詳細は別添資料の 1 ページをご覧ください。

① 満期共済金額

生命総合共済および建物更生共済合計の満期共済金額は、新契約における積立型終身共済の伸長等により 51 兆 612 億円（前年度末比 101.5%）となり、前年度末に比べ 7,515 億円の増加となりました。

	平成 23 年度末	平成 24 年度上半期末	前年度末比
生命・建物更生共済合計	503,096 億円	510,612 億円	101.5%
生命総合共済	314,962 億円	324,892 億円	103.2%
建物更生共済	188,134 億円	185,719 億円	98.7%

② 保障共済金額

生命総合共済および建物更生共済合計の保障共済金額は、満期到来契約が高水準で推移していること等により 299 兆 7,510 億円（前年度末比 98.7%）となり、前年度末に比べ 3 兆 9,698 億円の減少となりました。また、年金共済では、年金年額で 1 兆 9,400 億円（同 99.6%）となりました。

	平成 23 年度末	平成 24 年度上半期末	前年度末比
生命・建物更生共済合計	3,037,208 億円	2,997,510 億円	98.7%
年金共済	19,473 億円	19,400 億円	99.6%

(3) 主要収支状況等 ※詳細は別添資料の2ページおよび4ページをご覧ください。

① 受入共済掛金

受入共済掛金は、一時払掛金収入（積立型終身共済）が伸長したこと等により、前年度同期に比べ1,364億円増加し、3兆3,910億円（前年比104.2%）となりました。

② 支払共済金

支払共済金は、満期共済金が減少したことに加え、東日本大震災の影響を大きく受けた建物更生共済の事故共済金が大きく減少したことにより、前年度同期に比べ7,148億円減少し、1兆8,556億円（前年比72.2%）となりました。

③ 正味財産運用益

正味財産運用益（財産運用収益－財産運用費用）は、有価証券の増加に伴い利息および配当金収入が増加したこと等により、前年度同期に比べ134億円増加しました。

④ 経常利益

経常利益は、前年度同期に比べ78億円増加し、1,278億円（前年比106.6%）となりました。

(4) 資産の状況 ※詳細は別添資料の2ページおよび3ページをご覧ください。

総資産は、一時払掛金の受入れにより運用資産が増加したこと等から、前年度末に比べ1兆1,375億円増加し、48兆7,708億円（前年度末比102.4%）となりました。

そのうち運用資産は、前年度末に比べ1兆273億円増加し、46兆7,694億円（同102.2%）となりました。

2. 基礎利益 ※詳細は別添資料の10ページをご覧ください。

基礎利益は、利差損益が大きく改善したこと等から、前年度同期に比べ414億円増加し2,307億円となりました。

3. 支払余力（ソルベンシー・マージン）比率 ※詳細は別添資料の10ページをご覧ください。

支払余力（ソルベンシー・マージン）比率は、諸準備金の増加に伴い支払余力の総額が増加したこと等から、前年度末に比べ17.4ポイント増加の650.8%となりました。

4. 主な自然災害による建物更生共済の共済金支払状況（平成24年9月末現在）

(1) 平成22年度 東日本大震災

平成23年3月の東日本大震災により、東北地方を中心に被害がありました。

共済金支払いは、宮城県、福島県を中心に28県にわたり、合計で**件数 641,308件、支払共済金 8,880億円**となっています。

(2) 平成24年度 低気圧

平成24年4月の低気圧により、東北・北陸地方を中心に被害がありました。

共済金支払いは、秋田県、富山県を中心に46県にわたり、合計で**件数42,419件、支払共済金140億円**となっています。

(3) 平成24年度 台風4号および梅雨前線

平成24年6月の台風4号および梅雨前線により、東海・九州地方を中心に被害がありました。

共済金支払いは、静岡県、福岡県を中心に40県にわたり、合計で**件数17,346件、支払共済金147億円**となっています。

※ 本資料における金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しているため、増加および減少額については、別添資料の各数表上の数字で算出した数値と一致しない場合があります。

また、前年比等の比率は、小数点第1位未満を四捨五入して表示しています。